

スポーツ健康科学部

2023年度生

・

2022年度以前生の演習クラス未決定者

演習選考の手引き

申請上の注意点

【演習選考とは】

- 「演習Ⅰ～Ⅳ」「卒業研究A・B」のクラスを決定するための選考会です。原則、今回決定した担当者のもと、「演習Ⅰ～Ⅳ」「卒業研究A・B」を履修します。3年次の一般登録期間に「演習Ⅰ・Ⅱ」を、4年次の一般登録期間に「演習Ⅲ・Ⅳ」「卒業研究A・B」を各自DUETで履修登録してください。必ず決定したクラスを登録してください。

【受付・選考・発表について】

- 申請受付・発表の日程は次頁のとおりです。期限後の申請や申請に不備があった場合は、いかなる理由であっても受理しません。
- 各クラスの募集定員は【クラス定員一覧】に記載のとおりです。各選考時において希望者が定員に満たない場合は選考を実施しません。その時点でクラス決定となります。ただし、2次募集時以降における定員については定員均等化のため1次募集時の定員より減少する可能性があります(詳細は「演習選考 各クラスの定員」にてご確認ください)。
- 1次・2次募集時は、クラスにより、志望理由書(1,000文字以内、オンライン入力)の提出が必要です(3次募集時は全クラス不要)。志望するクラスが志望理由書を必要とするか否かは、「ゼミ紹介と定員超過時の選考方法」に表示しています。
- 希望者が定員を超えた場合、選考を実施します。選考があるクラスはDUETで発表しますので、必ず確認してください。選考日程・選考方法については「ゼミ紹介と定員超過時の選考方法」にある説明をよく読んでその内容に従ってください。変更や追加連絡がある場合、DUETメッセージでお知らせします。
- 定員に達したクラスはその時点で募集を終了します。
- 在学留学等で対面の面接に出席できない場合は、選考期間が始まるまでにスポーツ健康科学部事務室に相談してください。
- 大学のシステムトラブルでDUETが長期にわたり利用できない場合は、スポーツ健康科学部ホームページでの掲示を通じて諸連絡を行います。

【1次募集の注意点】

- 1次募集で志望理由書の提出が必要なクラスに申請する方は、DUETにて志望するクラスを申請し、さらに志望理由書を専用フォームからオンライン提出していただきます。どちらか一方でも欠けた場合は申請について無効となりますので、十分に注意してください。志望理由書の提出が不要のクラスについては、DUETでのクラス申請のみとなります。
- DUETの利用にあたっては受付終了間際に利用が集中することが予想されますので、余裕をもって申請手続を完了させるようにしてください。本学のネットワーク障害やサーバ障害によってサービスが中断される場合を除き、家庭のパソコンの不調等、個人の事情による登録手続の未完了や漏れ、ミスについては対応しません。
- DUETでの申請は、受付期間中であれば何度でも申請の変更を行うことができます。各クラスの希望者数表示は即時反映ではなく、30分毎に更新されます。申請後、Microsoft 365(大学付与メールアドレス)に送信されるメールで申請内容を確認してください。
- 志望理由書はMicrosoft Formsによるオンライン提出です。提出先のURLはDUETメッセージを通じてお知らせします。提出は一度限りで、差替えは認めません。

【2次募集の注意点】

- 志望するクラスを1クラス記入の上、Microsoft Formsからオンライン申請していただきます。申請先のURLはDUETメッセージを通じてお知らせします。提出は一度限りで、差替えは認めません。

【3次募集の注意点】

- 志望するクラスを第3志望まで記入の上、Microsoft Formsからオンライン申請していただきます。申請先のURLはDUETメッセージを通じてお知らせします。提出は一度限りで、差し替えは認めません。志望内容に基づき、大学がクラスを決定します。

日程

日 程	予 定	場 所 ・ 方 法
10月17日(木)	演習ガイダンス	TC2-102(知真館2号館102番教室)
10月21日(月)～ 10月30日(水)	クラス説明会・相談会・見学会(一部クラスのみ)	詳細はゼミ紹介頁参照
11月5日(火)10:00 ～11月6日(水)17:00	1次募集 申請期間	DUET「先行登録」
11月5日(火)10:00 ～11月7日(木)17:00	1次募集 志望理由書提出締切	オンラインフォーム(Microsoft Forms) ※提出先はDUETメッセージ配信にて通知
11月11日(月)10:00頃	1次募集 申請結果発表 1次募集で選考があるクラス発表	DUET「メッセージ」
	1次募集 選考	詳細はゼミ紹介頁参照
11月22日(金)10:00頃	1次募集 選考結果発表	DUET「先行登録」
	2次募集で募集があるクラス発表	DUET「メッセージ」
12月2日(月)～ 12月3日(火)	2次募集 申請期間	オンラインフォーム(Microsoft Forms) ※提出先はDUETメッセージ配信にて通知
12月4日(水)10:00頃	2次募集 申請結果発表 2次募集で選考があるクラス発表	DUET「メッセージ」
	2次募集 選考	詳細はゼミ紹介頁参照
12月10日(火)10:00頃	2次募集 選考結果発表 3次募集で募集があるクラス発表	DUET「メッセージ」
12月12日(木) ～ 12月13日(金)	3次募集 申請期間	オンラインフォーム(Microsoft Forms) ※提出先はDUETメッセージ配信にて通知
	3次募集 選考	
12月19日(木)	3次募集 選考結果発表	DUET「メッセージ」

各クラスの定員

【クラス定員一覧】

各クラスの1次募集における定員は以下のとおりです。2次募集開始前に定員が変更となる可能性があります。

井澤	田附	柳田	北條	石井	竹田	二宮	石倉	中村	海老根	福岡	高倉	上林	若原	庄子	松倉	河西	新井	岩田
各12名																		

2次募集における定員再設定および募集について

2次募集以降は、各クラスの人数均等化のため、1次募集の募集・選考状況に応じて定員が再設定されます。これにより、1次募集で定員未満であっても、2次募集を行わないケースが発生しえます。以下に具体例を挙げて説明します。

(例)1次募集定員12名で希望者10名、2次募集で定員が10名に変更になるケース

1次募集時(定員12名)	2次募集時(定員10名に変更)
希望者が10名おり、全員当選。この時点では定員(12名)未満ですが…	…定員が10名に再設定された結果、希望者が定員を満たしますので、2次募集は行いません。

井澤クラス — ゼミ紹介と定員超過時の選考方法


1・2次募集時志望理由書 不要

担当者	井澤 鉄也
演習テーマ・研究領域	<ul style="list-style-type: none"> 運動をミクロな視点で追いかけています。 継続的な運動はどのような仕組みで脂肪を減らすのだろうか:その分子機構を実験で見つけてみよう。 卒業研究では、その他にもスポーツ生化学や健康科学に関わる文献調査研究も行っています。
担当者の自己紹介	兵庫県神戸市出身。筑波大学体育専門学群・大学院修了後、東京薬科大学薬学部(薬学博士の学位取得), 電気通信大学電気通信学部自然科学系列, 東京都立大学理学研究科を経て、同志社大学スポーツ健康科学部に着任しました。
研究内容 「 http://izawalab.wixsite.com/izawalab 」 を見てください。	<p>スポーツ(運動)生化学は、運動やスポーツを行う(あるいは行った)際に起こる適応機構を細胞や細胞下レベルでの分子の変化を追いかけて明らかにしよう、という分野です。このような研究は国際的な学術雑誌に数多く掲載されています。当研究室では、動物の脂肪組織や骨格筋、肝臓を用いて、運動とは何か?を分子の動きで説明しようと挑戦しています。こうした研究に限らず、これまでの卒業研究ではヒト唾液中のホルモンや生理活性物質に及ぼす運動の効果も検討しています。それに加え、ゼミ生の興味に即して幅広くスポーツ科学に関する卒業研究も行なっています。</p> <p>みなさん、生化学は難しそうだ、とよく言います。しかし、実際にはテクニカルタームさえ覚えれば何とかなるものです。遺伝子やタンパク質という見えない世界を覗く面白さを実感してください。</p>
履修することが望ましい科目	生理学, スポーツ生理学, スポーツ栄養学 スポーツ統計情報処理, スポーツ生化学

受講生に望むこと	「プレゼンテーションの仕方」、「レポートの書き方」、「ストーリーの起承転結」、これらは学術論文に凝縮されています。学術論文はそれらの手続きに則っているからです。つまり、和文、英文を問わず、学術論文を読み込むだけでも力はつく!そこで、演習では、まずプレゼンテーションを実践し、次いで学術論文の書き方(Writing Scientific Research Articles)を学び、その後、国内外の最新の学術論文の抄読会を中心に実施します。また、適宜、簡単な演習実験を行います。好奇心とやる気、がんばり、これだけあれば充分。
1次募集で定員を超えた場合	万が一、定員を超えた場合、これまでの努力を評価し、GPA順に決定します。
2次募集で定員を超えた場合	同上(この場合、2次募集で希望してくれた学生さんに対して上記と同様の対応をします)
担当者からのお知らせ(説明会・相談会など)	<p>1. 説明会は実施できませんが、下記「URL」をご覧ください。 https://izawalab.wixsite.com/izawalab</p> <p>2. 質問や相談のある方はtizawa@mail.doshisha.ac.jpまでご連絡下さい。なお、私のメールアドレスからの返信が届くよう、ドメイン指定にご注意下さい。</p>

田附クラス ― ゼミ紹介と定員超過時の選考方法

1・2次募集時志望理由書 不要

担当者	田附 俊一
演習テーマ・研究領域	<スポーツ運動学> 「わざ」ができる・上手くなるなど、自分のからだを思うように操ることにより、人生を彩り豊かにするスポーツや身体運動の、いわゆる「コツ」や「カン」の実践的、理論的研究。
担当者の自己紹介	 <p>・同志社大学文学部文化学科教育学専攻(現社会学部教育文化学科)卒業(体育会陸上競技部に所属・専門種目はやり投げ) ・筑波大学大学院体育研究科コーチ学専攻修了 ・同志社大学勤務(1991年より) ・ドイツ・マインツ大学客員研究員(1998年4月から1年間) ・ドイツ・ミュンスター大学客員教授(2019年4月から1年間) ・京都日独協会会長(ドイツに興味ある方はどうぞ。大歓迎) 若い頃は自分や選手の競技力向上、特に技ができる・上手くなるをテーマに陸上競技日本代表選手にも関わりました。 その後、関心はスポーツや運動による豊かな人生に移行し、子どもの時期の経験が大切と考え、幼稚園でも実践研究をしています。 「教える」のではなく、環境の提供により、皆さんの能力を「引き出す」よう心がけています スポーツは芸術、文学、演劇、食事、お酒の嗜み同様に人生の教養であり、このからだ文化に、興味は尽きません。</p> <p>QRコードからmp4ファイルもご覧ください。</p>
研究内容	<p>1. スポーツや身体運動、運動遊びとコミュニケーション</p> <p>1)ドイツのBallschule(ボールゲーム)などによる、スペースを見つけ、タイミング良く走り込む・パスを出すなど、時・空間認知・行動能力の評価と習得など</p> <p>2)からだを通じた学びや教育 コミュニケーションの観点によるドイツの「動きのある学校」や「運動遊び幼稚園」の取り組み評価</p> <p>2. 運動やスポーツの指導と学習 「アフォーダンス」や「世阿弥の風姿花伝」なども用いる</p> <p>3. ドイツを参考にした身体運動やスポーツを用いた言語の習得</p> <p>4. 上記の実践的取り組み</p> <p>1)幼稚園での運動遊び、園児の保護者や幼稚園教諭との研究会</p> <p>2)京都府のタレント発掘・育成事業「京都きっず」の小・中学生トップ・アスリートのオールラウンド・トレーニング</p>
履修することが望ましい科目	特にこだわりません。

受講生に望むこと	<p>以下、目標も含みます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自己主張と他者の主張を認めるおおらかさ 2. 論理的思考と行動力 3. 自分を活かしてくれる場所を世界に求める視野(世界に出かけて欲しいと願います。個人的には多様な歴史、文化、言語、国境などが混在するヨーロッパで現地の人とディスカッションして欲しいと思います。) 4. 卒論のテーマはゼミ生の自由ですが、生理学的・生化学的実験は当該教員のゼミに進んでください(動作解析や調査は可能)。
1次募集で定員を超えた場合	<p>選考の概要</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 定員の約1/3から2/3をGPA順と面接で決定します。 なお、面接は希望される方のみに実施します。「演習テーマ・研究領域」や「研究内容」を研究したい方、「受講生に望むこと」を身につけたい方を希望します。 2. 面接希望者は10月18日(金)から11月6日(水)までに stazuke@mail.doshisha.ac.jpまでご連絡ください。面接日時をご相談します。ご希望に応じて対面、ZoomやLINEなどで行います。なお、私のメールアドレスからの返信が届くよう、ドメイン指定にご注意下さい。 3. 決定発表および抽選日 (1)決定発表および抽選日時:11月12日(火)12時30分 (2)場所:警上館141(運動学実験室) (3)GPA順や面接での決定者以外は公開抽選とします(抽選の仕方も、希望者にお任せします)。
2次募集で定員を超えた場合	<p>希望者に集まっていたら、公開抽選とします(決定の仕方も、希望者にお任せします)。 抽選・決定日:12月5日(木)12時30分 場所:警上館141(運動学実験室)</p>
担当者からのお知らせ(説明会・相談会など)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 説明会・相談会 日時:10月22日(火)と10月29日(火)の12時30分から13時 場所:警上館141(運動学実験室) 説明の他、質疑応答、また、現ゼミ生への質疑応答も予定しています。時間内の出入りは自由です。 2. 質問や相談のある方は stazuke@mail.doshisha.ac.jpまでご連絡下さい。返答いたします。なお、私のメールアドレスからの返信が届くよう、ドメイン指定にご注意下さい。

担当者	柳田 昌彦
演習テーマ・研究領域	主に公衆衛生学や学校保健などをベースとした健康科学に関する研究領域で、以下のようなキーワードに関連するテーマを扱う。運動疫学、地域保健、産業保健、学校保健、生活習慣病、メタボリックシンドローム、ロコモティブシンドローム、フレイル、介護予防、有酸素運動、レジスタンス運動、動的バランス、身体(不)活動、剣道、食生活、食育、ダイエット、肥満、痩身など。また、各種競技における技能、保健、衛生、医学的な諸課題についても取扱う。
担当者の自己紹介	群馬県高崎市生まれ。小中学校の教師を目指して群馬大学教育学部に入学したが、恩師や先輩との出会いから大学教員(研究者)の道に方向転換することになり、筑波大学大学院体育研究科修士課程、群馬大学大学院医学研究科博士課程を修了して、学位(体育学修士、医学博士)を取得。その後、栄養士や看護師、保健師の養成大学で教鞭を取り、同志社大学スポーツ健康科学部の開設とともに本学に着任。主な研究分野は、公衆衛生学や運動疫学、学校保健で、競技の専門は剣道(教士七段)。履歴、業績などの詳細は以下のURLを参照して下さい。 https://researchmap.jp/read0186525
研究内容	<ul style="list-style-type: none"> ●日本国民の身体活動状況と社会的要因、生活習慣病罹患・死亡状況等との関連(NIPPON DATA90&2010) ●レジスタンス運動と有酸素運動の複合トレーニングにおける順序性が高齢者の介護予防に及ぼす影響 ●地域における健康づくり運動支援システム構築の方法論 ●成長期の子どもの食育やライフスタイルに関する実態調査 ●剣道の心・技・体に関わる重要因子の科学的解明 ●各種競技における技能、保健、衛生、医学的諸課題に関する検討 など
履修することが望ましい科目	公衆衛生学や学校保健などの健康科学系科目と統計学に関する科目を履修していることが望ましい。
受講生に望むこと	自主性、積極性、協調性、社交性を持ってゼミ活動に取り組んで下さい！

1次募集で定員を超えた場合	<p>〔選考方法〕 「面接」および「成績(GPA)」により総合的に選考します。 ＜面接＞ 【日程】 11月12日(火)～11月15日(金) ※面接時間は約10分。志望した理由や興味を持っている研究課題、ゼミ活動の意志や抱負などについて質問します。希望者間の時間調整が必要となる場合がありますので、申請結果発表後、もし面接での選考が必要になった場合には、自分の都合のよい日時を速やかにメール連絡して下さい。 連絡先:myanagit@mail.doshisha.ac.jp なお、新型コロナウイルス感染症や授業の履修状況等を考慮して、面接はzoomでも対応いたします。</p> <p>【場所】 公衆衛生学実習室(磐上館2階、BJ255)</p>
2次募集で定員を超えた場合	<p>〔選考方法〕 「面接」および「成績(GPA)」により総合的に選考します。 ＜面接＞ 【日程】 12月5日(木)～12月6日(金) ※面接時間は約10分。志望した理由や興味を持っている研究課題、ゼミ活動の意志や抱負などについて質問します。希望者間の時間調整が必要となる場合がありますので、申請結果発表後、もし面接での選考が必要になった場合には、自分の都合のよい時間帯を速やかにメール連絡して下さい。 連絡先:myanagit@mail.doshisha.ac.jp なお、新型コロナウイルス感染症や授業の履修状況等を考慮して、面接はzoomでも対応いたします。</p> <p>【場所】 公衆衛生学実習室(磐上館2階、BJ255)</p>
担当者からのお知らせ(説明会・相談会など)	<p>説明会については、既にYou Tubeで公開されておりますゼミ紹介用の動画(以下のURL)を参照して下さい。 https://www.youtube.com/channel/UCGTuZVDJNhPguISoNmdNvCg 相談会(面談)については、随時受け付けますので、希望者は上記のメールアドレスに連絡して下さい。対面でもzoomでも対応いたしますので、遠慮なくどうぞ！ ゼミの見学(10/22、磐上館2階、BJ255)もご自由にどうぞ！</p>

北條クラス — ゼミ紹介と定員超過時の選考方法

1・2次募集時志望理由書 必要

担当者	北條 達也	履修することが望ましい科目	スポーツ医学A・B, 生活習慣病概論, 生理学, 機能解剖学等の医学領域の科目, 運動生理学関連の科目 履修をゼミ応募の義務とするものではありませんが, その知識があったほうがゼミでの活動が楽しいでしょうし, 私の領域に興味を持ってくださることを私が理解しやすいです。
演習テーマ・研究領域	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ外傷・傷害の疫学調査 ・スポーツ傷害予防のためのメディカルチェック:野球肘検診等 ・ダンススポーツの傷害調査:バレエ・チア他 ・成長期の運動器検診の有用性の検討:小学校運動器検診 ・中高年者のメタボ・ロコモ検診や対策:運動療法の有用性の検討 ・物理療法(温熱療法・温泉療法・寒冷療法・電気治療等)や保存療法(テーピング等)の有効性の検証 ・深部知覚(関節位置覚等)・筋疲労・抗酸化能に与える影響の検討 ・アンチ・ドーピング関連 	受講生に望むこと	研究領域や研究内容からわかるように, 毎年実施している検診事業やスポーツ現場での活動, 研究会活動(NPO法人)があります。 現場におけるいろいろな体験に興味を持ち, ゼミ生同士で協調性を持ち積極的に活動に参加してくれたり, 積極的にお手伝いをしてくれる意思のある学生さんを希望します。
担当者の自己紹介	中高大とクラブでテニスをしていたこともあり, 幅広くスポーツ全般に興味があり, 整形外科医になりました。というわけで広い範囲でスポーツの外傷や障害の予防に興味をもって研究しています。また, 温泉好きが高じて温泉気候物理医学会の評議員・温泉療法医にもなりました…温熱療法・寒冷療法などの物理療法にも興味があります。いつまでもなんでも知りたい心(好奇心)を持ち続けることをモットーに仕事も遊びも実践しています。コロナ禍が明け, 中止を余儀なくされたいたゼミ生のみなさんとの3,000m超の山登りゼミ合宿(高所体験)を再開しましたが, 2024年は台風で断念。是非来年はリベンジしたいと思います。	1次募集で定員を超えた場合	<ul style="list-style-type: none"> ・成績と志望理由書の両方を参考に判断しますが, 約半数は成績を優先, 残り半数は成績よりも志望理由を優先して選考します。そのため, 必ず志望理由書を提出するのを忘れないでください。 ※注)確認事項等がある場合にはこちらからメール等で連絡し, 必要に応じてZoom等で面談します。 ・スポーツ現場におけるトレーナー活動や上記研究内容に関連すること(フィットネスクラブや医療機関でのリハビリ補助, スポーツ指導など)を実践している学生さんはその実績も評価します。 また, ダンス領域のパフォーマンスを実践していてその研究に興味がある学生さんもプラス評価します。ただし, 採用を確約するものではありませんのでその点をご確認ください。
研究内容	<p>スポーツ医学および健康医学領域で幅広く興味を持って研究を進めています。具体的には以下のような活動を実施しています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1)スポーツ現場での傷害調査(研究実績:アメフト・ラグビー・サッカー・ラクロス・ゴルフ・テニス・陸上競技・チア等) 2)京田辺地区小学生少年野球団の野球肘検診(500人/年) 3)ダンサーの傷害調査とメディカルチェック 4)小学生の側弯症検診の検証実験(小学校検診に参加) 5)地域住民のメタボ・ロコモ予防(京都田辺中央病院と共同研究) 6)サウナ浴・温浴・冷水浴・炭酸水浴などが身体に及ぼす影響の研究とその現場応用の研究(他ゼミとの共同研究もあり) 7)疲労やアイシングなどがパフォーマンス低下に及ぼす影響の検討やその改善方法の開発など 8)アンチ・ドーピング活動の実践(テニス競技大会現場での活動・学生さんにはシャペロン活動体験の場を提供:年数回) 	2次募集で定員を超えた場合	<ul style="list-style-type: none"> ・成績と志望理由書の両方を参考に判断します。判断基準は基本的に1次募集と同様です。 ※注)確認事項がある場合にはこちらからメール等で連絡し, 必要に応じてZoom等で面談します。
		担当者からのお知らせ(説明会・相談会など)	<ol style="list-style-type: none"> 1. メールでの問合せ: thojo@mail.doshisha.ac.jp まで 2. ゼミ室での見学は, 部屋が狭いため実施困難なので, 以下の日程でZoom説明会を実施します。 <ol style="list-style-type: none"> ① 10月23日(水) 12:20 - 12:40 ② 10月28日(月) 12:20 - 12:40 <p>参加希望者は事前に北條の上記メールアドレスまで参加希望の意思と参加希望日を連絡してください。ZoomのURLとpasswordをお知らせします。資料だけ欲しい場合にも連絡ください。</p>

石井クラス — ゼミ紹介と定員超過時の選考方法

1・2次募集時志望理由書 必要

担当者	石井 好二郎
演習テーマ・研究領域	運動処方とは、競技力向上や体力向上、健康(肥満・生活習慣病の予防・改善、介護予防ほか)などの目的に対して、運動をどのように処方するか、という分野です。その目的に応じて、運動の種類・強度・時間・頻度(+期間)を変化させる必要があります。しかし、目的だけでなく、スポーツ・運動の種目や、その期分け(トレーニング期、試合期、ピーキング期など)、年齢、性、障害・疾患の有無、社会的立場、気象環境の変化、安全面等々によって処方すべきことは数々あり、まだまだ、研究しなくてはならないことがたくさんあります。運動処方研究室では、このような課題に挑むことをテーマにしています。
担当者の自己紹介	学士、修士、博士をすべて異なる大学で取得しました。大学教員としても広島大と北海道大、同志社大の3大学を経験しており、多様性と学際性を重んじます。そして、人間は良くも悪くも変わることを知っています。特に若い時の変化は、その時には気づかなくても、後に大きな違いになっているものです。だからこそ、石井は学生に同志社内で完遂せずに、多くの経験をしてほしいと望んでいます。
研究内容	石井研究室(運動処方研究室)は、身体そのものや、それを取り巻く環境など、より実地的な研究に重点を置いています。具体的な課題の解決方法を探り、社会に還元できる成果を発信していきます。今年3月の卒業生の主な卒論テーマを以下に示します。 <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者における社会的フレイルと健康関連QOLの関連 ・日本人大学生のボディイメージについて ・女子大学生の身体組成、運動習慣、エクオール産生値、骨量、およびPMS重症度の関連 ・長距離ランナーにおけるクロレラ摂取が免疫およびストレス応答に及ぼす影響 ・大都市における主観的および客観的健康寿命の地域環境要因 ・兵庫県の市区町村別要支援・要介護認定率格差要因の検討 ・日本の都市部における緑被率の変化と標準化死亡比の関係 ・京都市のニュータウンにおける健康と近隣環境との関連 ・京都市における社会経済的要因と標準化死亡比の関連比較 ・フレイル、オーラルフレイルとODK評価の関連の検討
履修することが望ましい科目	2年次までの必修単位は取得しておいた方が良いでしょう。また、当研究室に限ったことでは無いかもしれませんが、4年時には演習の授業程度の履修にし、就活・卒論に集中できる態勢が望ましいです。

受講生に望むこと	石井研究室は実学の研究室です。私たちが明らかにしていくことが人々の暮らしを豊かにします。希望を持って入学した時を思い出してください。また他大学・研究機関の先生・学生との交流を奨励しています。学会や研究交流会へ積極的に参加しましょう。
1次募集で定員を超えた場合	〔選考方法〕 面接、志望理由書により選考 <面接> 【日時】11月12日(火) 10時～12時、17時～18時 11月13日(水) 10時～13時、17時～18時(Zoom) 11月14日(木) 15時30分～18時 11月15日(金) 11時30分～17時 【場所】 訪知館(紫苑館の一つ磐上館寄り)2階HC204 ※上記時間内で面接時間を担当者にメールにて申し込んだ後、研究室まで来室すること。希望時間は先着順です。面接は10分程度。 ※担当者メールアドレス kishii@mail.doshisha.ac.jp
2次募集で定員を超えた場合	〔選考方法〕 面接、志望理由書により選考 <面接> 【日時】12月5日(木) 10時～12時、15時30分～18時 12月6日(金) 11時30分～17時 【場所】 訪知館(紫苑館の一つ磐上館寄り)2階HC204 ※上記時間内で面接時間を担当者にメールにて申し込んだ後、研究室まで来室すること。希望時間は先着順です。面接は10分程度。 ※担当者メールアドレス kishii@mail.doshisha.ac.jp
担当者からのお知らせ(説明会・相談会など)	ゼミ説明会: 10/21(月)・24(木)・10/30(水)12時30分～13時 訪知館(紫苑館の一つ磐上館寄り)2階会議室にて、3年ゼミ学生が担当。 ゼミ相談会: ゼミ説明会の後、訪知館2階ラウンジにて、3年ゼミ学生が担当。 石井ゼミFacebook https://www.facebook.com/doshisha.ishiilab/ 石井ゼミInstagram https://www.instagram.com/doshisha_kojiro/

竹田クラス ― ゼミ紹介と定員超過時の選考方法



1・2次募集時志望理由書 必要

担当者	竹田 正樹
演習テーマ・研究領域	研究領域: スポーツ生理学、トレーニング科学 テーマ: 各種運動時のエネルギー代謝・筋電に関する研究、センサーを用いた各種スポーツ動作の運動解析、運動トレーニングに対する生理的効果
担当者の自己紹介	博士(体育科学)、筑波大学 日本体力医学会評議員, 日本運動生理学会評議員 京都滋賀体育学会会長 京たなべ・同志社スポーツクラブ会長 全日本スキー連盟Division1コーチングスタッフ(~2022年度)
研究内容	スポーツ競技のパフォーマンス向上に役立つ科学的研究 過去の卒論・修論・博論テーマ(例) <ul style="list-style-type: none"> ・陸上競技スプリントのセンサーを用いた走特性および筋電解析 ・高精度キネマティックGNSS計を用いたクロスカントリースキーの走法分析 ・乳酸性作業閾値、換気性閾値ならびに筋電閾値の相互関係 ・ラグビー選手を対象とした冷水浴が筋機能回復に及ぼす効果 ・クロスカントリースキー選手における上半身パワーとパフォーマンスの関係 ・水泳選手の上半身パワーとパフォーマンスの関係 ・2週間にわたる高所トレーニング中の自律神経機能および身体コンディションの変化 ・運動中の筋バイブレーションが身体パフォーマンスに及ぼす影響 ・野球におけるベースランニングの最適化の検討 ・カヌー500m競技におけるペース配分の違いがパフォーマンスに及ぼす影響 ・ラグビー選手における高強度インターバルトレーニングが走能力に及ぼす影響(少なくとも今後2年間継続) ・ゴルフのパッティングストロークの練習機がパフォーマンスに及ぼす効果 ・ノルディックウォーキングと通常歩行の生理学的相違 ・ノルディックウォーキングの下肢関節負荷軽減効果 ・高齢者におけるダーツトレーニングが認知機能に及ぼす影響 ・認知機能改善を目的としたダーツ中の脳血流動態(継続3年目) ・小学生児童の認知機能に及ぼす一過性運動の効果 ・幼児における運動の種類が体力および認知機能に与える影響

履修することが望ましい科目	生理学、機能解剖学、 スポーツバイオメカニクス、スポーツ統計処理
受講生に望むこと	真面目にやる気のある人に来てもらいたいと思います。卒業研究を一生懸命、真面目に取り組む事のできる人を期待しています。一生懸命ゼミ活動をすれば、研究の一端に触れることができ、スポーツ健康科学部学生の集大成として必ず充実します。過去のゼミ生ととても仲良くなって私も楽しい思い出をたくさん作ることができました。ゼミは、私とゼミ生との信頼関係を基に運営されますので、その期待に応えてくれるだけの責任とやる気のある学生を望んでいます。私も努力しますので、皆さんも努力を惜しまないで下さい。スポーツ科学をどのように実現するか、一緒に考えましょう。
1次募集で定員を超えた場合	【選考方法】 学業成績、面接、志望理由書をもとに総合判断します。 <面接> 【日時】11月13日(水)9:00-12:00 (上記時間内いつでも結構です) 【場所】個人研究室(磐上館BJ301)
2次募集で定員を超えた場合	【選考方法】 学業成績、面接、志望理由書をもとに総合判断します。 <面接> 【日時】12月6日(金)12:15-13:45 (上記時間内ならいつでも来てもらって結構です) 【場所】個人研究室(磐上館BJ301)
担当者からのお知らせ(説明会・相談会など)	ゼミ紹介用オンデマンド資料等は特に用意しておりません。毎週火曜日3、4限目の授業(演習)を見学して頂いて結構です(場所は磐上館138号室)。その際、質問も受け付けます。メールでの問い合わせはこちらです。 mtakeda@mail.doshisha.ac.jp

二宮クラス — ゼミ紹介と定員超過時の選考方法

1・2次募集時志望理由書 必要

担当者	二宮 浩彰	受講生に望むこと	活気のあるゼミにしたいので、 スポーツマネジメントに関心があり、学業と研究活動はもちろん、プロジェクト研究、フィールドワーク、スポーツ体験、スポーツ観戦、セミナー、ゼミ合宿、ゼミ交流、 などに積極的に取り組み、多くの経験を積んでいただきたい。
演習テーマ・研究領域	演習のテーマは、スポーツを手段とした地域社会の活性化およびスポーツ産業の発展を目指したスポーツマネジメントです。演習では、現代社会におけるスポーツの諸現象を取り上げ、スポーツマーケティングの理論と方法論を援用することによって、スポーツがもたらす経済効果、社会効果、環境効果について考察します。	1次募集で定員を超えた場合	志望理由書、学業成績、学内外活動、面接によって選考します。二宮研究室で10分間の個人面接 11月14日(木)9:00~17:00 hninomiya@mail.doshisha.ac.jp 宛に、面接可能な時間帯をメールで知らせてください。折り返し、面接時間を連絡します。面接日に都合がつかない場合はメールで相談してください。
担当者の自己紹介	マラソン参加者やプロバスケットボール観戦者のスポーツ消費者行動を分析する研究をしているので、参与観察をするために自身もスポーツ参加やスポーツ観戦を実践するようにしています。 趣味は、アウトドア・スポーツ全般(ロードバイク、マウンテンバイク、ウインドサーフィン、カヤック、SUP、フィッシング、スノーボード、スキー、トレイルランニング、シュノーケリング、マラソン)。	2次募集で定員を超えた場合	志望理由書、学業成績、学内外活動、面接によって選考します。二宮研究室で10分間の個人面接 12月 5日(木)9:00~13:00 面接可能な時間帯をメールで知らせてください。
研究内容	スポーツ組織が集客に成功するには、人々が求める商品やサービスがどのようなものなのかを知る必要があります。つまり、顧客の嗜好や満足度といった消費者行動を理解した上で、マーケティング・ミックスを構築することが重要です。マーケティング・リサーチでは、スポーツ消費者およびスポーツ組織を対象としてデータや資料を収集します。得られた情報を整理して分析することによって、スポーツ消費者行動やスポーツ組織行動を実証的に把握することを目指します。二宮研究室(ゼミ)では、地域社会とスポーツのマーケティングを関心事として研究活動を行っています。 「沖縄県におけるスポーツツーリズム観光資源の有効活用策」 「プロスポーツにおけるファン獲得と地域密着のための調査研究」 「スポーツマーケティングによる地域活性化のためのSWOT分析」 「北海道ボールパークFビレッジ・SUP事業所のヒアリング調査」 などのプロジェクト研究やフィールドワークに取り組んできました。これらの研究成果を活用して、スポーツ組織における経営上の問題解決や意思決定といったマネジメントに役立てるための貴重な資料を提供することができます。	担当者からのお知らせ(説明会・相談会など)	<p>二宮ゼミの説明会を警上館スポーツ・マーケティング・リサーチ実習室(BJ201)で実施します。奮って参加してください。 2024年10月22日(火)・29日(火)12:30~13:00</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>DOSHISHANINOMIYALAB</p> <p>↑ 【同志社大学スポーツ健康科学部】スポーツマーケティング 二宮ゼミ - YouTube https://www.youtube.com/watch?v=wRAGg8eNk1w Instagramにて、二宮研究室のメンバーや活動の紹介をします。 「同志社大学二宮ゼミ」インスタグラム↑ https://instagram.com/doshishaninomiylab?r=na_meta インスタグラムの質問箱で、二宮ゼミについての質問を大募集! 二宮ゼミの説明会で、ゼミ生が質問に回答させていただきます。 個別に質問や相談がある場合は、メールでお問い合わせください。 hninomiya@mail.doshisha.ac.jp</p>
履修することが望ましい科目	興味のある社会科学系の科目があれば、他学部の開講科目も含めて履修すると、スポーツマネジメント研究に役立つでしょう。		

石倉クラス — ゼミ紹介と定員超過時の選考方法

1・2次募集時志望理由書 必要

担当者	石倉 忠夫
演習テーマ・研究領域	本研究領域では、「スポーツ」「運動」を対象として「 ヒトのこころの動きや行動 」を理解していきます。 本演習で取り扱う対象は次のように多岐にわたります：①スポーツ技能の学習、②スポーツの動機づけ、③スポーツ社会心理、④競技の実践心理、⑤スポーツメンタルトレーニング、⑥健康スポーツの心理。
担当者の自己紹介	運動スキルを能率的に学習させるためには、どのように工夫したらよいかについて大学生の時から興味を持っています。 研究キーワード：示範提示法（観察学習）。フィードバック情報の与え方。指導者の言葉かけ。社会的スキル。メンタルスキル。知覚-運動制御。
研究内容	運動スキル指導法、メンタルスキル、認知的スキルなどをキーワードとして研究しています。脳波や心拍数、注視運動などの心理生理学的データを手掛かりとして研究する例もあります。 演習で取り組んだ活動内容や研究テーマをHPで紹介しています。 「石倉研究室」 http://www1.doshisha.ac.jp/~tishikur/index.html をご覧ください。
履修することが望ましい科目	B群「スポーツ心理学」「メンタル・トレーニング論」、その他心理学関係科目

受講生に望むこと	素朴な疑問を大切にしてください。そして自ら学んでいく姿勢を育てていきましょう。 <u>3回生のうちに卒業研究計画を終えるスケジュールで考えています。</u> 意欲に富んだ方 を望みます。
1次募集で定員を超えた場合	【選考方法】 書類選考 【判断基準】 志望理由（興味関心事、卒業後の進路など）、単位取得状況、正課外活動状況などをもとに総合的に判断します。
2次募集で定員を超えた場合	【選考方法】 書類選考 【判断基準】 志望理由（興味関心事、卒業後の進路など）、単位取得状況、正課外活動状況などをもとに総合的に判断します。
担当者からのお知らせ(説明会・相談会など)	相談が必要な場合は、まずはメール連絡してください (tishikur@mail.doshisha.ac.jp)

中村クラス — ゼミ紹介と定員超過時の選考方法

1・2次募集時志望理由書 必要

担当者	中村 康雄
演習テーマ・研究領域	スポーツ・バイオメカニクス (スポーツ動作の測定・解析)
担当者の自己紹介	<p>自己紹介としてゼミの運営について簡単に紹介します。就職活動が忙しくなる前に、卒業研究を進めています。近年は、以下のように実施しています。</p> <p>演習1では、実験方法の習得と、研究の背景(経緯)を調査します。 ・動作解析の習得では、皆で実験テーマを1つ決め、測定・解析。 ・卒論の参考となる文献の内容をパワーポイントにて発表。 学期末にレポートとして「文献レビュー」を提出。 (レポートは、卒業論文の第1章(はじめに)の一部に相当)</p> <p>演習2では、卒論の実験計画を立案します。また、予備実験を実施することで想定した結果が得られるのかを調査します。 ・前半は、卒業研究の実験計画を立案し発表。 ・後半は、実際にデータを計測し予備実験を実施、結果を発表。 ・学期末にレポートとして「実験計画書」を提出。 (レポートは、卒業論文の第2章(実験方法)の一部に相当)</p> <p>大学の常識として普通に研究を進めれば、単位が認められます。しかし何もせずに、研究が進まなければ、単位は認定されません。</p>
研究内容	<p>さまざまなスポーツに関して、バイオメカニクス分野における新しい知見を得ることを卒業研究の目的としています。参考までに、これまでの卒業研究の例を記載します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 野球の投球動作、打撃動作の解析 2. 肩甲骨の動作解析 3. サッカーのキック動作の解析 4. アーチェリーのシューティング動作の解析 5. 歩行や、ランニング動作などの動作解析 <p>基本的に動作解析がメインとなりますが、対象とする競技は、皆さん自身で決定していただきます。</p>

履修することが望ましい科目	スポーツ機能解剖学 スポーツ・バイオメカニクス スポーツ統計情報処理
受講生に望むこと	ゼミを欠席した場合、必ず各自で別に時間を設けて、研究を進めるための作業を実施してください。卒業研究を進めることが非常に重要です。その基礎となるゼミ内の発表と、レポートの提出を重視します。いずれも、卒業論文の作成に直接利用できる資料となります。一般的な運用方法ですが、無駄な作業は全く無く、効率的に卒業研究を進める手法のひとつです。
1次募集で定員を超えた場合	<p>GPAと志望理由書により総合的に選考します。</p> <p>備考:GPAが等しい場合は、単位数が多い方を上位とします。 志望理由書は、希望する研究テーマと提供できる研究テーマのマッチングを評価します。</p>
2次募集で定員を超えた場合	<p>GPAと志望理由書により総合的に選考します。</p> <p>備考:GPAが等しい場合は、単位数が多い方を上位とします。 志望理由書は、希望する研究テーマと提供できる研究テーマのマッチングを評価します。</p>
担当者からのお知らせ(説明会・相談会など)	火曜の夕方に、スポーツ・バイオメカニクス実験室(BJ158)でデータ計測をする場合が多いです。興味のある方は、ご見学ください。

海老根クラス — ゼミ紹介と定員超過時の選考方法

1・2次募集時志望理由書 必要

担当者	海老根 直之
演習テーマ・研究領域	『えびゼミ』は、栄養・運動・休養、そしてパフォーマンスを高める食事などをテーマに、ゼミ生ごとの目標達成に向けて学んで行くチームです。先輩・後輩と強い絆が築ける“縦ゼミ形式”で、3年生から大学院生までの全てのゼミ生、そして時には卒業生までもが一緒になって活動しています(卒業後も残る宝となります)。 かかっている目標は、①卒業後に生かせる思考力とスキルの研鑽、②チームで発揮できる人間力の育成、③自分磨きを楽しむ姿勢の獲得です。すなわち、社会(組織)での活躍を裏付ける力を磨きます。 あえて卒業研究の完成を通過点と位置づけます。上級生の言動に刺激を受けながら、自ずと将来を見据えて活動することになります。大学院生向けの啓発の声かけを学部生にも行うゼミです。種々の課題の達成過程を通じ、一つずつ自信を積み重ねていきます。
担当者の自己紹介	「栄養学」と「バドミントン」が専門で、小学校の先生になりたかったその勢いで養護学校の教員免許を持っています。 筑波大学で博士取得までの9年を過ごしました。当時、国内に普及していなかった安定同位体利用技術の習得のため、カナダのMcGill大学(Human Nutrition学部)に研究員として3年間勤務し、帰国後は国立大医学部の公衆衛生学講座で教員をしていました。原点回帰を決意し、2008年の学部開設と同時にオープニングスタッフとして同志社に赴任しました。最近では、卒業生を招いてのゼミ合宿やZoom交流会など、ゼミの長い歴史を生かした企画が提供できるようになりました。卒業生の教育貢献が嬉しい限りです。
研究内容	学生の志向に合わせ、スポーツのゲーム分析や文献研究など、多様なテーマを提供していますので、下記はその一部となります： ・食事やサプリメントが健康や運動パフォーマンスに与える影響の検討(食品会社や製薬会社の研究員との共同研究が進行中です) ・食後の血糖値の急上昇を抑えるための方策についての研究 ・ヒューマンカロリーメーターなどを使ったエネルギー代謝関連テーマ(商品開発テーマもありますが、割と身近な題材を扱っています) ・スポーツドリンクの開発や水分摂取法の改善に向けた研究 *意外なほど広範囲のテーマを扱っていますので、えびゼミ公式WEBの卒業研究タイトルリストも参照してください。 https://www1.doshisha.ac.jp/~ebinelab/
履修することが望ましい科目	スポーツ栄養学, 栄養学, 応用演習, 生理学 (円滑な学びのために履修が完了していて欲しいですが、未履修者は優先履修して下さい)



受講生に望むこと	文・理を問わず、自己研鑽意識のある学生、学びを楽しめる学生には間違いなく活躍してもらえるゼミです。大学の学びの本質はゼミにあります。1番楽しく価値のある授業となります。楽しいゼミではありますが学生時代に楽ができるゼミではありません。目標を少し遠いところに置き、成長したくなる空間と時間を提供することで、将来の成功をたぐり寄せる努力に時間を当ててもらいます。就活の支援もお任せを(先輩、卒業生、海老根…)。 常に1つ上の視点からフィードバックがもらえ、1年後のあるべき姿が目の前にいる環境は縦ゼミだからこそ。いつの間にか同年代の学生より秀でることになるでしょう。ゼミという大学ならではの新しい居場所で、素敵な先輩(ときに卒業生も)と上下関係抜きに苦楽を共にするのがえびゼミです。学生の自己実現を支援しているため、就活生の出席率も9割越えです。 2年間のゼミ生活で、大学院生の水準で物事をやりくりできるようになって巣立ってもらおうのが海老根の目標となっています。
1次募集で定員を超えた場合	GPAに重きを置きつつ、志望理由書とインタビューを考慮して選考します(半数程度はインタビューを省略することがあります)。 志望理由書は、これまでの学びを自己点検し、今後の意欲を高めるために役立ちます。選考のためではなく自身の成長のためにしっかり取り組んでみて下さい。スポーツを大切にしている学生にはアピールの場にもなるはず。当ゼミが提供する教育が志望者にとって有意義かどうかを総合的に判断させていただきます。 インタビューは、11/12～15の希望日時に個人研究室(BJ314)またはZoomで実施します。メールでの事前予約をお願いします。
2次募集で定員を超えた場合	1次募集に準じます。インタビューは12/5～6の希望日時に行いますので、メールでの事前予約をお願いします。
お知らせ(説明会・相談会)	ゼミはいつでも自由に見学してもらえます(TC1-226, 火曜日3・4講時)。いくつかのメディアでゼミについて情報提供しています。えびゼミの“なかみ”を知りたい方はぜひアクセスを… 1)ゼミ説明・相談会 ゼミ生主催の説明・相談会を3回開催します。10/22(火)～24(木), 12:30～@TC1-226。OneDriveで資料公開中です。 ゼミ選考 えびゼミ説明資料2024 2)ゼミ生からのメッセージ 紹介動画を作ったのでゼミの様子をみて下さい https://www.youtube.com/channel/UCCyFUOLkA0BDEyISbdrePKA



福岡クラス — ゼミ紹介と定員超過時の選考方法

1・2次募集時志望理由書 必要

担当者	福岡義之
演習テーマ・研究領域	「人体のメカニズムや環境適応の観点からヒトの可能性を最大限に引き出す」ことをテーマにしています。ヒトに関わる生活科学からトップアスリートのトレーニング科学、さらに、障がい者のリハビリテーションや高齢者のヘルスプロモーションの運動処方进行研究します。
担当者の自己紹介	金沢大学教育学部卒業後、筑波大学大学院体育科学研究科体育科学専攻博士課程へ進学。修了後、研究者の道へ。スポーツ科学、応用人類学、環境生理学を専門領域とし「マイクロナノバブル装置を用いたアスリートの疲労回復と暑熱環境適応」や「ヒトの移行速度と経済速度に関する生理人類学的検討」などを研究課題としています。
研究内容	ゼミは、文献抄読から実験実習に移行していきます。半期で興味あるテーマを選択し、それに必要な実験手技を習得していきます。環境生理学実験室では、呼気ガス装置、NIRS、温度データログ、血流計、血圧計を用いて1拍動毎に詳細を測定し、からだの急激な変化を観察します。同時に、筋電計を用いて筋の活動を調べたりもします。呼吸・循環・体温・筋肉を同時測定して、これらの実験手技を学びながら、低酸素、高温、低温、無重力など様々な環境に対する人体のメカニズムを調べます。人体(主に呼吸・循環・体温)の生理実験→データ分析→発表・討議→レポート作成、という一連の流れを通して、身体科学的に捉える視点を身につけます。このPDCAサイクルは卒業後にも役立つプロセスです。 企業との共同研究や科学研究についていくつか紹介します。 1. 低温低酸素環境でのクロスアダプテーション(基盤B) 2. マイクロバブル装置を用いたアスリートの疲労回復と暑熱環境適応 (Rinnai, Iwatani との共同研究) 3. アスリートの活性酸素消去の革新的装置開発 (Iwatani との共同研究) 4. ヒトはなぜ走ることを選んだのか? ~歩・走行能力を支える代謝系の最適解~(基盤B) 5. 高圧高酸素環境での高齢者運動療法(丸太町リハビリテーションクリニック)

興味ある学生は、大学HPの研究者データベースをご覧ください。

https://kondb.doshisha.ac.jp/profile/in_57f2e4c2e20d07e2.html

履修することが望ましい科目	生理学、スポーツ医学、スポーツ栄養学、スポーツ統計情報処理(円滑な学修のために、履修が完了して欲しいですが、未履修者は3年次に優先履修して下さい)
受講生に望むこと	実験における失敗や未知なる結果との遭遇は、座学では得られない貴重な経験です。またチーム内の連携は、一人では成し得ない大きな成果を導き出すでしょう。このような「実践知」は卒業後の人生にも大いに役立つはずで。福岡ゼミでは、米国、イギリス、オーストラリア、イタリアなど海外の研究者との研究交流もあります。海外での共同研究に参加してみたいという国際感覚ある学生も歓迎します。 呼吸・循環・体温調節やトレーニングという分野の中で、皆さんそれぞれが個性を発揮しつつ、高い志を持ってゼミ活動に取り組んで欲しいと思います。
1次募集で定員を超えた場合	志望理由書と学業成績により選考します。 備考:GPAが等しい場合は、単位数が多い方を上位とします。志望理由書は、希望する研究テーマと提供できる研究テーマのマッチングを評価します。
2次募集で定員を超えた場合	志望理由書と学業成績により選考します。 備考:GPAが等しい場合は、単位数が多い方を上位とします。志望理由書は、希望する研究テーマと提供できる研究テーマのマッチングを評価します。
担当者からのお知らせ(説明会・相談会など)	Zoomを利用したゼミの説明会・相談会を予定しています。 10月22日(火曜)12:30~13:00 10月25日(金曜)12:30~13:00 希望者はできるだけ10月21日(月曜)までに、 yfukuoka@mail.doshisha.ac.jp に連絡をしてください(ZoomのID・パスワードを返信します)。

高倉クラス — ゼミ紹介と定員超過時の選考方法

1・2次募集時志望理由書 必要

担当者	高倉 久志
演習テーマ ・研究領域	<p>研究領域: スポーツ生化学・分子生物学</p> <p>【最近の主な研究テーマ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・持久力向上を目指した効果的な低酸素トレーニング方法の検証 ・サプリメント摂取や有酸素運動、またそれらの併用が肥満解消を促進するメカニズムの解明 ・陸上長距離種目での「脚をつくる」トレーニングの科学的効果の検証や呼気ガス分析によるコンディション評価 ・トライアスロン選手のトレーニングサポート
担当者の自己紹介	<p>専門競技は陸上競技(中長距離)でした。持久的運動能力を効率的に向上させるにはどういったトレーニングが最適なのか？という疑問から、特に筋の代謝機能に着目して生化学・分子生物学的側面から研究しています。</p>
研究内容	<p>高倉ゼミでは、実験的根拠に基づいたヒトへと還元・応用できる運動トレーニングの開発を目標としながら、「骨格筋」「有酸素性代謝能力」「競技力向上」「ミトコンドリア」「低酸素」などをキーワードに実験動物や培養細胞を用いて研究に取り組み、持久的な運動パフォーマンスや生活習慣病の予防・改善に重要な筋有酸素代謝能力がトレーニングによって向上する仕組みについて分子レベルで解明しようとしています。卒業研究では、【最近の主な研究テーマ】に則した内容に取り組んでもらっても構いませんし、自身で興味のある内容を設定し、その研究に取り組んでもらうことも可能です。</p> <p>その他の情報についても研究室のWeb Siteをご覧ください。 URL: https://sites.google.com/view/takakuralab/</p>
履修することが望ましい科目	<p>スポーツ健康科学のための自然科学入門B・生理学・スポーツ生理学・スポーツ栄養学・スポーツ統計情報処理</p>



Web Site



X(旧Twitter)



受講生に望むこと	<p>知的好奇心とやる気。ゼミでは外国語文献(英語)を読むこともあります。トレーニングによる競技力向上や継続的な運動による健康増進の仕組みについて興味がある人、一緒に研究しましょう。</p>
1次募集で定員を超えた場合	<p>【選考方法】志望理由書と学業成績、面接により選考 【日時】11月12日(火)~14(木)10~13時 【場所】個人研究室(磐上館BJ356) * 10分程度の面接を予定。面接の希望時間帯をE-mailであらかじめ連絡すること</p>
2次募集で定員を超えた場合	<p>【選考方法】志望理由書と学業成績、面接により選考 【日時】12月5日(木)13~17時、6日(金)15~17時 【場所】個人研究室(磐上館BJ356) * 10分程度の面接を予定。面接の希望時間帯をE-mailであらかじめ連絡すること</p>
担当者からのお知らせ(説明会・相談会など)	<p><ゼミ見学会について> 10月22日(火)3, 4講時@BJ235(演習室4)</p> <p><ゼミ相談会について> ゼミ相談会は磐上館BJ356にて以下の日程で実施予定。 10月22日(火)11:30~13:00 10月25日(金)11:30~13:00 実施時間帯の必要な時間だけでの参加で大丈夫ですので気軽にいらしてください。実施予定日以外でも受け付けますので、その場合には希望日、時間帯を記載してE-mail (htakakur@mail.doshisha.ac.jp)を送って下さい。なお、E-mailでの問い合わせも歓迎です。</p>



高倉ゼミ
Instagram

上林クラス — ゼミ紹介と定員超過時の選考方法



1・2次募集時志望理由書 必要

担当者	上林 清孝
演習テーマ・研究領域	運動制御・運動学習、脳神経科学 ヒトの身体運動を生み出す 脳・神経・筋の機能 、反復練習によって 運動が上達するメカニズム 、 アスリート脳の構造的・機能的特徴 などについて研究しています。
担当者の自己紹介	東邦大学大学院で博士(医学)取得後、国立障害者リハビリテーションセンター研究所、筑波大学を経て、2013年から現職です。どのような仕組みで運動が上達するのかといった疑問から神経科学に興味を持ちました。これまで脳卒中や脊髄損傷後のリハビリテーションに関する研究にも携わっています。趣味はスポーツ観戦です。
研究内容 研究室webサイト  研究室 X (旧Twitter) @KamibayashiLab 	身体動作は筋収縮によって生み出されますが、その筋収縮がどのように調節されているのか、運動システムについて学びます。また、運動制御に関わる感覚系についても学習します。演習の授業では、筋電図、動作解析、重心動揺、脊髄反射、脳機能・構造[経頭蓋磁気刺激(TMS)、脳波、MRI]などの 計測を通じて、研究に必要となる実験手法を学びます 。競技レベルの異なる被験者間での筋活動の差異、巧みな動作の再現性、環境変化に対する歩行・走行の適応、脳刺激による脳機能の向上、運動観察・運動イメージによる脳の興奮性変化、緊張によるパフォーマンス低下、効率的な運動学習方法の探索など 各自興味をもったテーマで卒業研究を進めてもらいます 。詳細については研究室のwebサイトをご覧ください。 https://www1.doshisha.ac.jp/~kkamibay/
履修することが望ましい科目	身体運動制御論、スポーツ機能解剖学、スポーツ統計情報処理

受講生に望むこと	探究心をもち、困難に思われることでも積極的にチャレンジする主体性のある学生を望みます。実験は一人ではできないことが多く、仲間との協調性も必要になります。ぜひ一緒に面白い研究をしましょう。
1次募集で定員を超えた場合	[選考方法] 学業成績、面接、志望理由書により選考 <面接> 【日時】11月14日(木)9時から18時 【場所】個人研究室(磐上館 BJ309) 10分程度の面接を予定。面接の希望時間帯をE-mailであらかじめ連絡すること (E-mail: kkamibay@mail.doshisha.ac.jp)
2次募集で定員を超えた場合	[選考方法] 学業成績、面接、志望理由書により選考 <面接> 【日時】12月5日(木)9時から18時 【場所】個人研究室(磐上館 BJ309) 10分程度の面接を予定。面接の希望時間帯をE-mailであらかじめ連絡すること (E-mail: kkamibay@mail.doshisha.ac.jp)
担当者からのお知らせ(説明会・相談会など)	[ゼミ説明会] 10月25日(金) 12:30-13:00 知真館 TC2-206 [ゼミ見学会] 10月29日(火) 13:00-15:30 磐上館 BJ151 運動制御実験室 質問や相談がある場合は、メールでお問い合わせ下さい。 (E-mail: kkamibay@mail.doshisha.ac.jp)

若原クラス — ゼミ紹介と定員超過時の選考方法


1・2次募集時志望理由書 必要

担当者	若原 卓	履修することが望ましい科目	スポーツ生体ダイナミクス、スポーツ機能解剖学
演習テーマ・研究領域	<p>「運動器(主に骨格筋)のバイオメカニクス」 具体的には、以下のようなテーマに取り組んでいます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・骨格筋の構造と機能はどのような関係にあるか？ ・トレーニングによって筋・腱はどのように変化するか？ ・スポーツにおける基本的な動作(走、跳、投、蹴など)のパフォーマンスを高めるために、重要な筋はどこか？ ・スポーツ選手の筋のかたさ(柔軟性)の特徴は？ 	受講生に望むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・筋や腱の構造・機能やそのトレーニング変化に興味のある人 ・スポーツ健康科学に対する高い志を持つ人(大学院進学希望者など)を歓迎します。
担当者の自己紹介	<p>もともとトレーナーを志望して早稲田大学人間科学部スポーツ科学科に入学しました。大学時代に出会った恩師の影響で、自分自身で新しいことを発見する研究者に魅力を感じ、現在に至ります。</p>	1次募集で定員を超えた場合	<p>志望理由書、学業成績(GPAだけでなく、登録科目とその成績など)、面接により選考します。</p> <p><面接> 【日時】11/13(水)10時-12時 11/14(木)10時-12時 11/15(金)11時-18時 【場所】個人研究室(磐上館BJ310) or Zoom * 10分程度の予定。希望時間帯と方法(面接or zoom)をE-mailであらかじめ連絡してください E-mail: twakahar@mail.doshisha.ac.jp</p>
<p>研究内容</p> <p>ウェブサイト</p>  <p>X(Twitter)</p> 	<p>ゼミは実験実習を中心に進めます。講義を聞いて頭で理解した(つもりになっている)ことも、実験を通して実際に体験することでより深く理解できると考えているからです。例えば、MRIや超音波装置を用いて筋や脂肪の量を測ったり、筋線維の構造・動きを捉えたりします。また、筋力計で最大筋力・筋パワーを計測したり、筋電計により筋の活動を調べたりします。これらの実験方法を学びながら、人体の構造的・機能的特性を調べます。実験→データ分析→発表・討議→レポート作成、という流れを通して、人体やスポーツを科学的に捉える視点を身につけ、卒業研究につなげます。</p> <p><ゼミ卒業生の卒業論文のタイトル例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・単関節動作と多関節動作における筋活動の相違 ・等尺性膝伸展動作における同一筋内での活動交替 ・サッカーのインサイドキックとインステップキックにおけるボールスピードと腸腰筋の断面積の関係 ・バレーボール選手における大腿四頭筋各筋の断面積と跳躍高との関係 ・ハムストリングスの柔軟性と400 mハードル走におけるハードリング時の疾走速度との関係 ・伸張性収縮運動による大腿二頭筋長頭の力学的特性の変化 ・Association between trunk and gluteus muscle size and long jump performance(本文も英語で執筆) 	2次募集で定員を超えた場合	<p>志望理由書と学業成績(GPAだけでなく、登録科目とその成績など)、面接により選考します。</p> <p><面接> 【日時】12/5(木)13時-16時 【場所】個人研究室(磐上館BJ310) or Zoom * 10分程度の予定。希望時間帯と方法(面接or zoom)をE-mailであらかじめ連絡してください E-mail: twakahar@mail.doshisha.ac.jp</p>
		担当者からのお知らせ(説明会・相談会など)	<p><説明会> 10/21(月)12:20-12:50 知真館3号館 TC3-117 ゼミ学生にも活動内容を紹介してもらいます。</p> <p><見学会> 10/22(火)13:10-14:40 磐上館トレーニング科学実験室II BJ156 その他、質問・相談はE-mailで連絡をください。 E-mail: twakahar@mail.doshisha.ac.jp</p>

庄子クラス — ゼミ紹介と定員超過時の選考方法

1・2次募集時志望理由書 必要

担当者	庄子 博人
演習テーマ・研究領域	プロスポーツ、スタジアム・アリーナ、スポーツ企業などのビジネスモデルの課題を発見し、解決策を考えるゼミです。現代において、スポーツの普及や社会課題の解決のためには、スポーツが好きという思いとビジネスの仕組みが不可欠と考えています。
担当者の自己紹介	スポーツビジネスの現場へ貢献することを大事にしています。例えば、スタジアム・アリーナの官民連携プロジェクト、プロスポーツクラブとの共同研究、アウトドアスポーツのフィールドワークなどに力を入れています。
研究内容	わが国のスポーツビジネスの新たなモデル(仕組み)を考えます。自治体や政府が主体となってきたわが国のスポーツは、財政の悪化や少子高齢化によって、民間企業や地域が主体となる新たなビジネスモデルに変化しはじめています。そこで、マクロの観点では、わが国のスポーツ産業全体の成長方策の検討をし、ミクロな観点では、プロスポーツクラブやスタジアム・アリーナについて検討します。 具体的なゼミ研究例: <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ産業を成長させる要因は何か? ・スタジアム・アリーナのビジネスモデルとは? ・プロスポーツクラブを黒字化するには? ・スポーツビジネスは社会を豊かに変えるのか? ・スポーツビジネスによる公平・平等な社会の実現
履修することが望ましい科目	「スポーツビジネス論」と「スポーツ・マネジメント論」は履修することが望ましいです。ただしこの2つは、3回生からの科目になりますので、ゼミに入ってから履修してください。

受講生に望むこと	組織、体制、社会は所与のものではなく人間が作っているものです。人間が作っているということは、変えることができるということです。スポーツという見方を通して、より良い社会を作っていくという気概のある人を望みます。
1次募集で定員を超えた場合	志望理由書をもとに面談を実施します。 日時:11月14日(木)13:00~ 集合場所:スポーツビジネス研究室(BJ206) 11月14日(木)の13:00にBJ206に集合してください。抽選で順番を決め面接をします。面接は5~10分程度を予定しています。どうしても11月14日(木)午後が不可能な学生は、他の日時を調整しますので、 hishoji@mail.doshisha.ac.jp まで事前に連絡をください。
2次募集で定員を超えた場合	志望理由書をもとに面談を実施します。 日時:12月5日(木)9:30~ 集合場所:スポーツビジネス研究室(BJ206) 12月5日(木)の9:30にBJ206に集合してください。他は上記1次募集で定員を超えた場合と同じです。
担当者からのお知らせ(説明会・相談会など)	【説明会&相談会】 10月29日(火)12:30~14:00(入退室時間は自由) @磐上館カンファレンスルーム 12:30~13:00 ゼミ説明(教員&現役ゼミ学生) 13:00~14:00 個別の質問、相談を受けます。 その他質問がある場合は hishoji@mail.doshisha.ac.jp までメールをしてください。
ゼミ紹介	 DOSHISHA.SHOJI

松倉クラス — ゼミ紹介と定員超過時の選考方法

1・2次募集時志望理由書 必要

担当者	松倉 啓太
演習テーマ・研究領域	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツにおけるコーチング (考え方・指導法やトレーニング計画) ・指導者と選手との関わり方、チームマネジメント ・スポーツにおける選手・指導者に関する諸問題
担当者の自己紹介	<p>専門種目はサッカーで、サッカー以外にも野球をはじめとする様々な種目の観戦に足を運んでおり、現在スポーツ界で起きている選手や指導者に関する諸問題にも興味を持っています。最近ではDAZNでのサッカーとプロ野球観戦が一番の楽しみです。現在学外では日本スポーツ協会の指導者講習会においてコーチディヴェロッパー(講師)として活動しています。</p>
研究内容	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ選手にとっての望ましい姿と指導者の関わり ・スポーツにおける動作分析や指導法 ・コーチとしての選手への効果的な働きかけ ・競技パフォーマンス分析 ・制約主導型アプローチによるトレーニング立案と検証 <p>現在の研究はサッカーを中心に特にゴールキーパーに関することを多く行っています。また、トレーニングのデザインとその効果の検証、指導現場のコーチの方々と実践面での問題や最近の研究を、パフォーマンス改善やトレーニングへの反映させるためにディスカッションを通して、研究と実践の橋渡しができるよう取り組んでいます。</p>
履修することが望ましい科目	コーチング論(ただし必須では無い)

受講生に望むこと	<p>将来的にスポーツの指導者として活動したい人をはじめ、スポーツの指導やコーチング、技術・戦術トレーニング手段について研究を行いたいという学生の皆さんを待っています。指導実践などを通して、様々な新しいアイデアやひらめきを出してほしいと思います。</p> <p>スポーツの指導においては、指導対象のコンテキスト(文脈・状況)に応じた対応が常に求められます。ゼミを通していろいろな種目・競技レベルの背景を持った学生同士が多くの意見や考えを共有しあえる場となることを希望します。</p>
1次募集で定員を超えた場合	<p>志望理由書、面接、学業成績により総合的に選考 <面接> 【日時】 11月13日(水) 10時から17時 11月14日(木) 10時から17時 *対面、またはオンラインで10分程度の面接を予定。面接の希望時間帯を11月8日(金)17:00までにE-mailにて連絡すること。 (E-mail: kmatsuku@mail.doshisha.ac.jp)</p>
2次募集で定員を超えた場合	<p>志望理由書、学業成績により選考</p>
担当者からのお知らせ(説明会・相談会など)	<p>【説明会&相談会】10月23日(水)12:30~13:00 @BJ262</p> <p>「どのようなことを行うのか？」 「こんなことをやりたいのだけれども出来るのか？」 といった研究内容に関することから、 その他、質問や疑問がありましたら、ご参加ください。</p> <p>メールでも質問を受け付けます。 (E-mail: kmatsuku@mail.doshisha.ac.jp)</p>


河西クラス — ゼミ紹介と定員超過時の選考方法

1・2次募集時志望理由書 必要

担当者	河西 正博	履修することが望ましい科目	障がい者スポーツ論、障がい者スポーツ論(応用)、スポーツ社会学
演習テーマ・研究領域	演習テーマ:障害者スポーツ論、障害学 研究領域： 障害児・者のスポーツ社会化 障害者のスポーツ参加による「障害意識」の変容 障害者スポーツ場面における「障害者」「健常者」の関係性 障害児・者の運動、スポーツの活動実態(特別支援学校生徒、アスリート等)	受講生に望むこと	演習の一環としてゼミ合宿、各種障害者スポーツ現場での実習を行います。 部活動・その他活動との両立ができること が本演習に取り組む前提となります。
担当者の自己紹介	障害児・者のスポーツ環境の構築に向けた活動実態の把握(特別支援学校の体育授業、パラリンピアン等の活動状況等)および、その背景にある障害当事者の「障害意識」の検討や、障害者スポーツにおける「健常者」の関わりや障害者との関係性について研究を行っています。 障害者スポーツに関わる実践として、パラバドミントンや車いすバスケットボール等の活動に携わっています。	1次募集で定員を超えた場合	志望理由書をもとに面接(対面)を実施(10分程度) 面接日時:11月13日(水)10:00~18:00 上記時間内で面接可能な時間を mkawanis@mail.doshisha.ac.jpまで、必ず事前に連絡をしてください。
研究内容	健常者のスポーツ実施率(52.0%)*両者とも「週に1回以上」 障害者のスポーツ実施率(32.5%) (スポーツ庁, 2024) 上記のスポーツ実施率の差はどこから生まれるのでしょうか？ ちょっとした工夫や配慮があればスポーツに参加できるとしても、「障害があるから」という一言で遠ざけられてしまっている場合があります。 言い換えればスポーツが「できない」のではなく、さまざまな固定観念や思い込みで「できなくさせられている」のかもしれません。 本演習ではこのような背景のもとに、スポーツ場面で生じる「障害」とは何かということ、障害当事者やその傍らにいる健常者の意識、障害者スポーツを取り巻く環境等から検討していきます。 以上の検討に当たっては、「障害」を単に心身機能・構造の欠損と捉えるのではなく、他者や集団との関係性によって生じる「社会的なもの・相対的なもの」と捉えてもらい、皆さんなりの「障害・障害者観」「障害者スポーツ観」を構築していただきたいと思います。	2次募集で定員を超えた場合	志望理由書をもとに面接(オンライン)を実施(10分程度) 面接日時:12月5日(木)15:30~18:30 上記時間内で面接可能な時間を mkawanis@mail.doshisha.ac.jpまで、必ず事前に連絡をしてください。
		担当者からのお知らせ(説明会・相談会など)	下記日程・会場で説明会を実施します。 10月21日(月)12:20~13:00@BJ203 *事前申し込み必要なし、入退場自由


新井クラス — ゼミ紹介と定員超過時の選考方法

1・2次募集時志望理由書 必要

<p>担当者</p>	<p>新井 彩</p>	<p>履修することが望ましい科目</p>	<p>スポーツ機能解剖学, スポーツ・バイオメカニクス, トレーニング論, スポーツ統計情報処理 必須ではありませんが, 未履修の場合は3回生から積極的に受講することが望ましいと考えています。</p>
<p>演習テーマ・研究領域</p>	<p><トレーニング科学, スポーツバイオメカニクス> より速く走りたい, 高く・遠くに跳びたい, そのメカニズムを明らかにする, ということに基本的な興味関心があり, 競技の現場的な動作やトレーニング, その基礎となるヒトの筋力発揮や制御, 筋や腱のメカニクス等に注目しています。アスリートの動作から日常生活動作まで, 歩く, 走る, 跳ぶ, 投げるなどの基本的な運動のパフォーマンスとそのトレーニングや長期的な適応, 振る舞い等について研究しています。</p>	<p>受講生に望むこと</p>	<p>好奇心, 向上心, チャレンジ精神. 協調し協力し合うことができること. 自分の興味関心事・好きなことについて, 熱意を持って語る人, 是非一緒に研究しましょう。</p>
<p>担当者の自己紹介</p>	<p>兵庫県神戸市出身, 専門競技は陸上競技(混成競技). 陸上競技の現場のコーチングに長く携わってきました。現場で溢れ出る疑問やアイデアを拾い, トレーニングの工夫をするには, 研究は欠かせません。いつもあれこれトレーニングのことを考えています。ハイヒール歩行や美しく歩くとは?といった研究もしています。</p>	<p>1次募集で定員を超えた場合</p>	<p>[選考方法] 志望理由書, 学業成績, 面接により選考する。興味関心のあるテーマと実施可能な研究テーマとのマッチングを重視します。 [面接] 11月13日(水)13:00~17:00 11月15日(金)13:00~17:00 面接場所:個人研究室(BJ308)またはZOOM ※11/12(火)12:00までにE-mailにて希望時間・方法を事前連絡, 調整の上で面接時間を決定し返信します。面接時間は10分程度です。(E-mail: aarai@mail.doshisha.ac.jp)</p>
<p>研究内容</p>  <p>QRコードからゼミ紹介や研究内容紹介のリンクへ</p>	<p>演習授業では, 主に動作や筋活動等を観察する実験実習を行いながら, わたしたちがどのように身体を動かし, パフォーマンスを発揮しているのかの理解を進めていきます。主観的に理解している技術や身体の扱い方を, 客観的にみて理解を深めていくことを目指した動作分析や, 普段の練習や当たり前に行っていることへ切り込んでいくトレーニング課題, 筋の活動や力を計測してその機能を調べていく研究など, ヒトの身体の動き, 機能, トレーニングに注目しています。ゼミでは, 運動をシンプルに捉えてメカニズムを明らかにするための研究デザインの検討, 実験の実施, 分析, 論議, アウトプット(レポート・プレゼン)の流れを学びます。ゼミ内でのディスカッション機会を多く設け, 論理的思考力を高め, 想像・創造力を培い, 卒業研究を進めていきます。ゼミ内では先輩後輩の垣根を超えて, 活発に議論を進めています。 【卒業研究例】 ・陸上競技の短距離走におけるミニハードルの即時効果について ・棒高跳選手の形態的左右差の検討 ・リズムを制御したリバウンドジャンプのトレーニング効果 ・ハイヒール歩行によるインソールの有効性について ・主観的な運動のグレーディングと運動成果に関する研究 ・支持脚と非支持脚の制御方略の検討 etc… ※皆さんの興味関心のある動きやスポーツのアイデアから新たなテーマを構築することも可能です。</p>	<p>2次募集で定員を超えた場合</p>	<p>[選考方法] 1次募集の方法に準じて選考します。 [面接] 12月5日(木)10:00~17:00 ※12/4(水)17:00までにEmailにて連絡してください。</p>
		<p>担当者からのお知らせ(説明会・相談会など)</p>	<p>【説明会・相談会を開催します】 研究内容に関して, またその他の質問・疑問など受け付けます。 10月24日(木) 12:30~13:00 10月29日(火) 12:30~13:00(主に個別質問) BJ106(トレーニング科学実験室 I)にて実施します。 【クラス見学】 10月29日(火)3, 4限のゼミ実施中の見学も可能です。 個別の質問や相談は, aarai@mail.doshisha.ac.jpにメールで送ってください。また, BJ106トレーニング科学実験室 I で, 分析などゼミ活動を行っている様子は随時見学可能です。</p>

岩田クラス — ゼミ紹介と定員超過時の選考方法

1・2次募集時志望理由書 必要

担当者	岩田 昌太郎	履修することが望ましい科目	保健体育科教育法のA1, A2, B, C(指導法に関する科目), スポーツ教育学
演習テーマ・研究領域	(1)保健体育科教育学 (2)スポーツ教育学 (3)教師教育 (4)授業研究 以上の4つの研究分野や領域から、あなたの興味あるトピックを選んでいきましょう。もちろん、演習(ゼミ)の中で具体的なテーマを探究していけば問題ありません。知的好奇心とやる気を持って、みんなで対話を重ねながら新しい研究と自分を発見してください。	受講生に望むこと	演習の一環として、ゼミ合宿、小・中・高等学校での授業研究や部活動に参加することもあります。したがって、各自の部活動やその他の活動との両立ができ、積極的に国内外の教育に興味を示して行動できることが本演習に取り組む前提となります。もちろん、各個人の知的好奇心とやる気は必須です。是非とも、以上のような研究内容(保健体育・スポーツ・教育)について興味がある方は、一緒に探究していきましょう。
担当者の自己紹介	福岡県の北九州市生まれ。大学生から広島に。広島で学部・大学院を終えて、当初は中高一貫校にて保健体育科教員として働いていました。ひょんなことから、大学教員に興味を持ち、博士課程後期を終えて琉球大学での初大学教員として勤務。その後、広島大学で教鞭をとる機会を得て15年間勤務しておりました。そして、 2023春に同志社大学スポーツ健康科学部に異動してきました。 教職科目の担当をしています。	1次募集で定員を超えた場合	【選考方法】 学業成績、面接、志望理由書により総合的に選考する。 【面接】 <日時> 11月12日(火)10時から17時, 11月14日(木)9時から15時, 11月15日(金)10時から14時 <場所> 個人研究室(磐上館BJ319)またはZoom * 15分程度の面接を予定。面接の希望時間帯や方法をE-mailであらかじめ連絡すること (E-mail: siwata@mail.doshisha.ac.jp)
研究内容 岩田の詳しい研究内容については、以下のQRコードからご確認ください。	ゼミは、 課題探究型の実習 を中心にして進めます。国内外の教育・スポーツ・保健体育に関連する知識をもとに、授業を基盤としてもっと深く理解や思考を深めていこうと思っています。また、 大学間交流や学校現場へのフィールドワーク も実施していきたいので、積極的に参加してくれる人を大募集。そして、そのような活動を通して、 人が豊かになるためのスポーツ・保健体育・教育のあり方を科学的に捉える視点 を身につけ、卒業研究につなげてもらいます。 <ゼミ・卒業生(広島大学)の卒業論文のタイトル例> ・保健体育教師における信念の形成に関する基礎的研究—教員養成段階に着目して— ・中学校体育授業における単元とのつながりを意図した体力向上プログラムの開発—マット運動の導入段階に着目して— ・跳び箱運動におけるタブレット型機器の効果に関する実践研究—中学生を対象として— ・中学のヘルスリテラシーの育成を目指した保健授業の検討 ・CLILの導入は中学校体育にどのような影響を与えるのか—CLILを実践する教師の成長に着目して— ・部活動における体罰の是非の意識に関する研究 ・高等学校の体育理論における学習成果を保障する授業づくりに関する事例研究—生徒と教師の評価に着目して etc…	2次募集で定員を超えた場合	【選考方法】 志望理由書、学業成績、面接により選考する。興味・関心のあるテーマと実施可能な研究テーマとのマッチングを重視します。 【面接】 <日時> 12月5日(木)9:00~17:00 <場所> 個人研究室(磐上館BJ319)またはZoom ※前日の17:00までにE-mailにて希望時間を事前連絡、調整の上で面接時間を決定し返信します。面接時間は10分程度です。 (E-mail: siwata@mail.doshisha.ac.jp)
		担当者からのお知らせ(説明会・相談会など)	下記の日程で、オンライン説明会を実施します。 *10月22日(火)12:30~13:00 参加希望者は、10月21日(月)までに、siwata@mail.doshisha.ac.jpまで連絡をしてください (ZoomのID・パスワードを返信します)。